

8. 5 郵政労働者交流集会への呼びかけ

民営郵政粉碎！ J P 労組中央を打倒しよう

6. 29～7. 6 洞爺湖サミット粉碎闘争を「法政のように闘おう」を合言葉に爆発させた、全国の郵政職場に働く仲間の皆さん！法政の闘い、6.29 サミット闘争を引きついで、8. 5～6 広島に結集しよう。

全員逮捕を覚悟して闘いぬいた渋谷、札幌のデモは全国、全世界に報道され、帝国主義足下の労働者だけでなく、帝国主義と闘うすべての人民の共感と連帯をつくりだした。この勝利をただちに職場に持ち込み、新たな団結を作り出し、8. 6 から11月1万人集会を実現しよう。

新自由主義はサブプライムローンの破綻でガタガタだ。投資ファンドは、原油市場や穀物市場へ向かい、あらゆる生活必需品の暴騰を世界中で引き起こしている。数え切れない人々を、餓死に追いやり、またすさまじい格差を生み出している。新自由主義に対する怒りは世界に満ち、労働者のデモやストにとどまらず、農漁民のストや、暴動が連日起こっている。まさに革命情勢だ。

郵政職場は、民営化後、組合統合で労働運動解体、御用組合化が進められ、大合理化と不安定雇用化が進んでいる。ふきだしてくる怒りに対して、会社は厳罰をもって臨んでいる。また利潤追求の下で、地域の切捨て＝廃局も進んでいる。「民営化絶対反対」を掲げ、動労千葉のように闘うことが必要だ。動労千葉のような、法政のような団結を、となりの仲間にも広げて生きたいという思いが決定的だ。「団結の究極の拡大が革命だ」の実践を始めるということだ。

「蟹工船」を百数十万人の若者が読み、瞬時に自分が何者であるのかつかんでいる。この若者たちは、現状の打破を望んでいる。闘いを求めている。獲得のチャンスだ。絶対反対の毅然たる路線と方針が勝利のカギだ。60年、70年のように世代まるごと決起する情勢が到来していることに確信を持ち、職場の仲間にも絶対的な信頼を持って、職場闘争とオルグをやろう。

今年の8. 6 ヒロシマ大行動の取り組みは、階級的労働運動路線のもとで取り組まれる。帝国主義は生き残るためなら何でもする、ヒロシマ、ナガサキを引き起こし、新たな核戦争もやる。それを止め、核をなくすにはプロレタリア革命しかない。この立場から今年の8. 6 闘争を爆発させ、世界革命への階級的・国際的団結をつくりだそう。

呼びかけ 塩満 隆夫（広島東支店第一集配課）大槻 豊茂（J P 広島東）有賀 崇雅（広島西支店第二集配課）石岡 和晃（岡山支店第二集配課）日野 亮（J P 松山一集分会）和田 康司（J P 松山支部一集分会）岡本 啓三（J P 中予支部北条分会）

日時 8月5日14時～16時30分（開場13時30分）

場所 広島市東区民センター会議室 連絡先 090-7134-9212 有賀